国語　小学校　１年

単元名　これは、なんでしょう
光村図書「こくごー下」

単元の流れ（全６時間）

【第１次】＜学習活動の見通しを持つ＞

◇第１時
・「これは、何でしょう」クイズ（教師師範）をして物の名前を当てるクイズを楽しみ、興味を持つ。
・教科書をもとに、クイズの進め方や、準備することを考える。

「活用」の力育成のために
学習活動に興味を持たせ、進め方や準備について児童自身が考えられるようにする。

【第２次】＜問題を作ってクイズの準備をする＞

◇第２時　問題にするものを選び、特徴を考える。
・形や色、使い方、役目などをノートに書き出す。
・グループで交流して、内容を確かめる。

◇第３時　問題の内容や出し方を考える。
・前時に考えた特徴から、クイズの問題文を考える。
・画用紙に問題の文と答えの絵をかく。

◇第４時　話し方や聞き方を考えて練習する。（本時）
・問題を出すときの話し方や質問の仕方を考える。
・問題を出すときの話し方をグループで練習する。

「活用」の力育成のために
実際にクイズをする前に、練習しておくことで、自信と見通しをもって活動できる。

【第３次】＜「これは何でしょう」クイズをする＞

◇第５時　クイズをして、話したり尋ねたりする。
・出題者が他のグループに出向いてクイズをする。
・質問をしたり、答えたりしてクイズを楽しむ。
・交代して全員が出題者になってクイズを続ける。

◇第６時　単元の学習をまとめ、評価問題に取り組む。
・学習を振り返って、できるようになったことや、感じたことなどを交流する。
・評価問題に取り組む。

評価問題

「活用」の力育成のために
小グループでクイズをすることで、全員が出題者として話したり、応答したりする体験ができるようにする。

単元目標
○事物を説明するための問題を作り、問題を出しあって、尋ねたり応答したりする。

単元構成の意図

事物を説明する話し方を身に付けるとともに、クイズ形式の対話の中で、尋ねたり応答したりする力を身に付けることをねらいとした単元である。

まず、話題設定や取材に関する指導事項として、問題にする物を自分で決めて、その特徴を考える学習活動を設定する。その後、クイズの準備として、問題文を考えて提示物を作成し、話し方の練習をする。事前に準備と練習の時間を十分取ることで、児童自身が自信と見通しを持って、話したり聞いたりする言語活動に取り組めるようにする。

口形に気を付けて、はっきり、ゆっくり話すこと、また、聞き手の目を見て話すことなど、具体的に指導する。

「活用」の力を育てるポイント

クイズという言語活動では、大事なことを落とさないように話を聞いたり、質問に的確に答えたりするなど、その場に応じて臨機応変にことばを使うことが求められる。このような経験を有意義なものにするためにも、十分な準備と練習ができるようにする。

本時の流れへ　授業展開例へ　HOME